

国際ロータリー第2580地区 (東京・沖縄)

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1662

2005—06年度 国際ロータリーテーマ 「超我の奉仕」 RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

国際ロータリー 第2580地区



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

2005-06年度ガバナー 古宮 誠

「協調性あるクラブ活動を」

SERVICE Above Self

第34代クラブ会長 後藤 正次

本日の例会
全員クラブ協議会

第1663回
例会
2006. 5. 10

次回例会案内 【5月17日(水)】
卓話 地区環境保全委員長

第1662回例会報告 (2006年4月26日)

司会 網代 雅男 SAA委員

点鐘 (後藤 正次 会長)

卓話 『市政について』

武蔵村山市長 荒井 三男 様



斉唱

それこそロータリー (ソングリーダー 峯岸 一郎 会員)

来客紹介 (後藤 正次 会長)

会務報告 (後藤 正次 会長)

○なし

○お客様
卓話講師 武蔵村山市長 荒井 三男 様

出席報告 (見延 壽昭 出席委員長)

幹事報告 (原田 友義 幹事)

○例会変更
リバーサイドRC ㊦

○事前メーキャップ
田中 伸彦 会員→ 分区ゴルフ

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	25名	81.25%	なし

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
 ◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
 ◎ 会長 後藤 正次 ◎ 幹事 原田 友義
 ○ 副会長 小野寺 一昭 ○ 副幹事 芦川 征史
 □ 会報雑誌委員長 比留間 孝司 副委員長 野島 征
 委員 渡辺 洋司 宮崎 茂夫

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 ◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
 ◇ クラブ事務局
 〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
 TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
 Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp





はじめに、四年前に就任し行政改革に取り組み、職員数を四年間に65人減らし、現在437人になっている。定年間の職員の給与は約1000万円なので約6億5千万円支出が少なくなったことになる。職員数は420人が適当と思われる。また、日産自動車跡地にダイヤモンドシティが本年11月オープンします。ジャスコ、三越、そして飲食店含め160店舗出店し、映画館も12店2000席、雇員が3000人と大いに期待する所です。

1. 横田基地の軍民共同利用の推進

市内西部地区南に通称「多摩開墾」という調整区域がある。現在、固定資産税は100万円未満であるが、この場所は従来より市の宝物と考えている。ここに来て米軍の再編、横田基地軍民共同利用の可能性が出てきた。ターミナルを基地の外に設けるにはこの多摩開墾が適地と考えている。東京都からは具体的な回答は得られていないが、市としては市民の意識調査（生活・環境・産業振興・市民の想い）をアンケート方式で9月頃までに実施したい。その上で今後の地域活性化を図りたい。

2. 多摩都市モノレールの市内早期延伸

新青梅街道が昨年3月11日、現18mから30mに拡幅の都市計画決定がされ、本年3月には今後の10年間の整備事業のなかで優先して取り組むことになった。早いうちの事業化を再度都市整備局長に要望した。多摩都市モノレールは現在約1000億の負債があり、東京都はこれが解決しない限り新しくは着手しないとのこと。解決の方法としては、① 会社を一旦つぶして新しい会社を作る。② 税金を投入し身軽にする。行政としては②を要望していく。横田軍民共同化が進めば早期実現も可能になる。

3. 都市核地区土地区画整理事業

日産北側から新青梅街道南の間の区画整理事業は当初平成27年までと計画されていた。これでは市の補助金が80億円を超えることになるのでこれを41億に減らし、総事業費も160億から140億に減らした。期間も平成31年まで延ばし実施可能な事業に変更した。

4. 旧日産跡地整備事業

ダイヤモンドシティは本年11月オープン、わらべやさんは来年3月（1日35万食製造できる規模）稼働予定。850戸のマンションについては頓挫した。トータルカーライフショップは今秋開業予定。カレスト事業は縮小してオープンすること。既に開業している武蔵村山病院を含め交通アクセスとしてニシハラ理工さんに抜ける道路を計画している。

5. 都営村山団地の再生計画事業

現在村山団地には8800人住んでおり、65歳以上が38.9%、そして約600人の方が生活保護を受けています。（費用の4分の1が市負担、4分の3が国負担）村山団地再生計画3期工事が終了すると二階建て住宅はすべてなくなります。東京都はその後の計画はないようだが東村山市が実施している東京都の多摩リーディングプロジェクトの次期事業として東京都に要望し地域活性化を図っていききたい。

6. 西部地区土地区画整理事業の検討

武蔵村山市の西部中原地区はかつてモノレールの基地を作る予定があったが、公団が諸般の事情によって民間にゆだね現在住宅地となった。この地域を多摩開墾地域まで拡大し社会資本、上下水道等を整備し、将来横田基地軍民共同利用等運用形態が変わったときに備える。もし、多摩開墾が宅地化されれば約6億の固定資産税・都市計画税があがってくる。また、この地域平成18年事業で民間交番をつくりボランティアの人員パトロールできる体制を整える。

[担当：宮崎 茂夫 会員]

委員会報告

○ 次年度 小野寺会長より

次年度活動方針と予算案について炉辺を行います。5月11日(木) クラブ奉仕部門。5月12日(金) それ以外の部門、いずれも「五色」で時間は追って連絡します。

○ プログラム委員会 (石井 賢司 プログラム委員長)

これからの卓話について。
5月17日：地区環境保全委員長
5月24日：ヒマラヤン動物病院の本庄先生
5月31日：天乃屋(株) 社長
6月の卓話はございません。

○ 次年度四大奉仕委員長方針

(クラブ奉仕 比留間 重次 委員長)

- クラブ奉仕はロータリーの基本を構成するものでクラブの充実を図らなければなりません。その為には
- ① クラブの雰囲気大切にすることが大事です。例会に参加することが楽しくなるような例会を作り出席率を上げること。
 - ② 委員長は情報・出席・会員選考・会員増強・親睦・プログラム・広報・会報雑誌の全委員会の活動に対し監督、調整し責任をもって掌握する。
 - ③ ロータリーの根本はクラブ奉仕より職業奉仕、社会奉仕、環境保全、国際奉仕、世界奉仕にあります。また地域活動に奉仕し地域社会にロータリーの認識度を高めることにあります。
 - ④ クラブにマージャンやつり等の同好会を作るのも良い。また各委員会は炉辺を多く実施し、委員家族で食事会をするのも良い。



ニコニコBOX (鳥海 真一 親睦委員)

波多野総会員⇒大変お忙しいところ今日は荒井市長のご来会に感謝申し上げます。

◆ 今回計 5,000円 累計 1,474,500円